



## 新井木自治会

### 団体概要

新井木自治会(自治区長:岸 秀雄)は、97世帯の会員で構成され、分会として、子ども会、50歳前後の会員からなる賢人会、70歳前後の会員からなる新和会があり、それぞれの会で公民館周辺、八幡宮の草刈りや公民館の清掃などの地域活動を行っています。また、自治会全体でも防災活動やどんど焼きを実施するなど、子どもから大人まで地域活動に積極的に参加し、地域コミュニティの活性化を進めています。

### 地域貢献活動について

地域での防災機能を高めるため、(一財)自治総合センターで行っている「地域防災組織育成助成事業」を活用して防災倉庫を設置し、備品(テント、発電機、ヘルメット、手袋、救急運搬用担架など)を整備しました。年1回備品の点検を実施して災害に備えるとともに、年1~2回防災訓練を実施したり、自治会内の事業周知、緊急連絡を行う手段として、ショートメールサービスを活用するなど、地域全体で連携を密にし、防災意識を高めています。

また、介護予防推進員の認定を受けた自治会員が、介護予防教室を月2回公民館で開催し、新井木町だけでなく、大崎町、箕輪町、中山町など近隣住民の皆さんと一緒にシルバー体操や認知症予防ゲームを行うなど、地域を超えて健康意識を高め合い、交流を深めています。

毎年1月14日前後に実施するどんど焼きでは、賢人会を中心に子ども会の皆さんと一緒に餅つきを行い、集まった方々に振る舞いながら、地域内の親睦を深めています。

### 目指すまちのすがた

様々な地域活動の中で「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の意識を醸成し、災害発生時などいざというときに強力な団結力が発揮できる助け合いのまちを目指します。



介護予防教室の様子

◆問い合わせ = ④市民と共に考える課(内線2120)

# 【防災News】

## 【岡田地区防犯防災連絡協議会発会式を開催しました】

6月5日、中沼公民館で岡田地区の防犯防災連絡協議会発会式が開催されました。岡田地区では、犯罪や非行などのない安全で明るく住みよい地域社会を実現するため、人と人のふれあいを大切に、絆を深めながら笑顔が行き交う、そんなまちづくりを目指し、防犯活動が活発に行われてきました。

そのような中、近年、全国各地で発生している自然災害へ備えるため、防犯協会と岡田地区の各団体との連携体制の強化を図り、自分たちのまちは自分たちで守る「共助」の考えを基に、地域のすべての力を結集した小学校区単位での自主防災組織を結成しました。

発会式当日は、組織結成までの歩みや今後の地域での活動内容について発表があり、その後、西南広域消防本部石下分署員から救急応急処置の方法や災害時の対応について学び、今後の活動や防犯防災に関する意見交換を行いました。

◆問い合わせ = ④防災危機管理課(内線2210)



▲発会式の様子



▲石下分署員から救急応急処置の説明を受ける参加者

常住人口のうごき(令和4年6月1日現在)※( )内は前月比  
 男30,124人(+34)/女29,903人(+24)/合計60,027人(+58)  
 外国籍住民5,751人(+108)/世帯数22,831世帯(+110)

